

令和6年度厚生労働行政推進調査事業費補助金（肝炎等克服政策研究事業）
「多様な病態に対応可能な肝疾患のトータルケアに資する人材育成及びその活動の質の向上等に関する研究」 分担研究報告書

徳島県における肝炎医療コーディネーターのスキルアップ研修会の在り方に関する検討

研究分担者：河野豊

国立大学法人徳島大学 大学院医歯薬学研究部 実践地域診療 医科学 特任教授

研究協力者：立木佐知子 徳島大学 肝疾患相談室

研究要旨：徳島県の肝炎医療コーディネーター（以下肝Co）養成の在り方について、肝Coからのアンケート調査結果を昨年度報告した。本年度はこの調査結果を元に、肝Coの活動推進を図るべくスキルアップ研修会の内容の変遷について検討精査した。「職場での認知度が低い」「(特にコロナ禍) WEB研修での限界」などが問題点として明らかとなつたため、これら問題点に対応したプログラム内容を次期に見直してスキルアップ研修会を開催した。今後肝Coの持続的な活動に貢献できるようなプログラムの提供や、活動を評価するコホート調査を予定している。

A. 研究目的

徳島県の肝癌死亡率は全国平均を下回る状況であり、肝疾患に対する対策が急務な状況である。徳島県では肝炎医療コーディネーター(肝Co)養成講習会およびスキルアップ研修会をそれぞれ開催しており、養成者数は年々増加しているが、活動の継続に関する評価は今まで行ってなかった。そこで本年度は、スキルアップ研修会におけるプログラム内容の変遷について調査することとした。

B. 研究方法

徳島県および拠点病院である徳島大学肝疾患相談室主催で開催されてきた肝Coスキルアップ研修会の内容について精査した。

(倫理面への配慮) 本研究は個人が特定されるような調査ではないため、倫理面への配慮は行ってない。

C. 研究結果

徳島県では平成29年より肝Coスキルアッ

プ研修会を開催しているが、変遷について3つの時期に分ける。

1. 草創期(平成29年～令和元年)

同時期はDAAが承認されウイルス駆除ができるようになった時期であるが、肝Coが職場で認知されていないため、患者を治療に結びつけるなどの十分な活動ができなかつた。そこで職場での肝Coの役割を明確化するために、肝Co所属機関の肝臓専門医がスキルアップ研修会の司会や講師を担当したり、他県の肝Coの活動報告を行うことによって、より日常業務で実践可能な活動に落とし込めるようにした。

2. コロナ禍期(令和2～3年)

対面での研修開催が制限されていた時期であったが、肝Coからの研修会の開催内容として「助成制度の詳細」「肝移植」「HVB再活性化対策」などの多くの要望があった。そこで、情報提供としてこれらの内容についてはオンデマンドでのWEB配信を、従来の肝Coの活動報告についてはLIVE配信と分けて研修会をおこなった。その結果、コロナ

禍においても、知識の習得と活動記録の双方を継続して提供することができた。

3. With・Post コロナ期(令和4～6年)

コロナ禍期のWeb研修によりスキルアップ研修会への参加に対する利便性は増したが、その一方肝Coの活動にもたらす効果を直接評価するのが困難であった。そこで、対面での研修開催制限が解除されてからは、通常の講義により情報提供に加えて、体験実習(肝炎すごろく体験)やグループディスカッションを行うことによって、肝Co同士の意見交換による交流を促した。

D. 考察

徳島県での肝Co陽性者数は令和5年度末で662名と年々増加傾向である。一方肝Coの更新としてスキルアップ研修会等の参加が要件であることから、本研修会のプログラムの工夫が肝Co活動の維持に必須と考えられる。本年度はスキルアップ研修会のプログラムの変遷について3期に分けて検討し、各期ともその時代に即したプログラム内容であったが、全てにおいて肝Co活動の維持を図るように注力した。徳島県では早くから能動的なプログラムとしてグループディスカッションを導入している。さらにグループディスカッションでの小グループについても、肝Coの経験年数や職種をバランスよく配置することによって、各参加者の達成度を均てん化できるように工夫した。また、スキルアップ研修会の立案者である研究協力者(立木佐知子)が他県での肝Co養成講習会に事前に参加することによって、スキルアップ研修会でのプログラム立案に参考にしたり、各グループの成果を客観的に評価することができる。これらにより、他県肝Coとの違いや差別化が生まれたと考えられた。なお県内の病院での肝Coの活動調査については、計画準備中であるため次年度に詳細を報告予定である。

E. 結論

徳島県における肝Coスキルアップ研修会

の変遷についてまとめた。コロナ禍など開催そのものに制限があった時期においても肝Coの活動をファーストに考えた独自なプログラムの立案により、肝Coの活動をサポートできるスキルアップ研修会の開催ができていた。今後は肝Coの活動に影響を及ぼす因子を実態調査で抽出して、それらを解決できるようなプログラムを盛り込んだスキルアップ研修会の開催を予定している。

F. 政策提言および実務活動

<政策提言>

なし

<研究活動に関連した実務活動>

河野豊、立木佐知子：令和6年度第1回徳島県肝炎医療コーディネーター養成講習会 2024年9月29日 主催：徳島県

立木佐知子：令和6年度第2回徳島県肝炎医療コーディネーター養成講習会 2025年2月9日 主催：徳島県

立木佐知子：佐賀肝炎医療コーディネーター研修会(令和6年度養成研修・スキルアップ研修会)2024年12月16日～2025年1月15日 WEB受講

立木佐知子：令和6年度千葉県肝炎医療コーディネーターWeb継続研修会 2024年8月7日

G. 研究発表

1. 論文発表

なし

2. 学会発表

河野豊、立木佐知子：「本県における肝炎医療コーディネータースキルアップ研修会の変遷」特別企画 4-1
肝炎医療コーディネーターのスキルアップを考え～HCVが制御可能となった今～ 第60回日本肝臓学会総会 2024年6月13日

(肝臓 65巻 suppl.1 PageA246 2024)
矢田ともみ, 會田美恵子, 立木佐知子,
橋本まさみ, 池上正, 江口有一郎 肝 Co
主導型スキルアップ研修会サポートプログ
ラム「肝 Co サポートプログラム」 特別企
画 4-1 肝炎医療コーディネーターのスキル
アップを考える～HCV が制御可能となった
今～ 第 60 回日本肝臓学会総会 2024 年 6
月 13 日 (肝臓 65 卷 Suppl.1 Page A247
2024)

**H. 知的財産権の出願・登録状況(予定を含
む。)**

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし